

かたかなでかくことばをれんしゅうしましょう。



メ  
ロ  
ン



ク  
ラ  
ス



マ  
ン  
ト



タ  
オ  
ル



コ  
ア  
ラ



マ  
ス  
ク



テ  
ニ  
ス

の  
か  
た  
へ

濁音や促音のない、清音のみで構成されるかたかなの言葉です。おもに外来語や外国の国名のほか、擬音語・擬態語など、どのような場合にかたかなを使うかも例を挙げて教えてください。



ナ  
イ  
フ



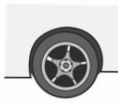
ミ  
シ  
ン



サ  
ン  
タ



レ  
モ  
ン



タ  
イ  
ヤ



レ  
タ  
ス



ミ  
ル  
ク

かたかなも、にぐる おとには もじのみぎうえに「。」をつけて書きます。



バ  
レ  
エ



ゴ  
リ  
ラ



ベ  
ン  
チ

かたかなも、はじける おとには もじのみぎうえに「。」をつけて書きます。



ガ  
ム



ボ  
ウ  
ル



ズ  
ボ  
ン



ポ  
ス  
ト



ペ  
ン  
キ



パ  
ン  
ダ

の  
か  
た  
へ

濁音や半濁音の混じったかたかな言葉の書き取りです。ひらがなと同じく「。」をつけて書きます。

つまるおとは、ちいさい「ッ」を  
みぎうえに かきます。



ナ	バ	セ	コ
ッ	ッ	ッ	ッ
ツ	グ	ト	プ

ただし、よこに かくばあいは、  
ちいさい「ッ」を ひだりしたに かきます。

こ ろ っ け  
コロ ッ ケ



ば す け っ と  
バス ケ ッ ト



ねじれる おとは、ちいさい「ヤ」「ユ」「ヨ」を  
みぎうえに かきます。



チ	シ	パ	ジ
ヤ	ヤ	ジ	ヤ
ツ	ツ	ヤ	ム
ク		マ	

ただし、よこに かくばあいは、ちいさい「ヤ」  
「ユ」「ヨ」を ひだりしたに かきます。

じ や ん ぶ  
ジ ャ ン プ



り ゆ っ く さ っ く  
リ ユ ッ ク サ ッ ク



の かたへ

横書きにする場合、促音、拗音とも小さな「ッ」「ヤ」「ユ」「ヨ」  
混じる言葉はくり返し練習して使い方を覚えさせましょう。

縦書きの場合、促音が  
左下に書きます。

のぼす おとは、  
「ー」を たてむきに かきます。



プ	カ	ハ
ー	ヌ	ー
ル	ー	ト

もののおとなども  
かたかなで  
かきます。



ゴ	キ	カ
ー	ー	ー
ン	ン	ン

の かたへ

かたかなで、前の音をのばして発音する言葉は長音符「ー」を使います。縦書きの場合は縦の線を、  
横書きの場合は横の線を、ます目の中心に書くように練習させてください。

よこに かくばあいは、  
「ー」を よこむきに かきます。

ち い ず  
チ ー ズ



げ え む  
ゲ ー ム



ざ ー ざ ー  
ザ ー ザ ー



に や ー に や ー  
ニ ヤ ー ニ ヤ ー

えに あうように、ことばを かきましよう。



なわとび



はくしゅ



てっぽう



やきゅう



ひゃくえん



せんぷうき



かきごおり



ちゅうしや

の かたへ  
おうち

濁音・半濁音・促音・拗音・長音を含むひらがなの復習です。難しいようならKG-004からKG-006をもう一度練習させてください。

かたかなで ことばを かきましよう。



ちよコレート



ちゅりっぷ



しゅクリーム



びんぶ

に ゆ う す  
ニ ュ ー ス



し ゃ ん ぷ う  
シ ャ ン プ ー



け ち ゃ っ ぷ  
ケ チ ャ ッ プ



び ゅ ん び ゅ ん  
ビ ュ ン ビ ュ ン

の かたへ  
おうち

濁音・半濁音・促音・拗音・長音を含むかたかなの復習です。とくに、かたかな独特の拗音と長音が混じった言葉は何度も練習させてください。

た だ しい か き か た に な る よ う に、ど ち ら か を え ら ん で 罫 に か き ま し ょ う。



え・へ      え・へ      わ・は      わ・は      お・を      お・を

まえ      えき      にわ      はは      かお      ゆめ

へ      へ      は      は      を      を

すすむ。      いく。      ひろい。      はやおき。      あらう。      みた。

の か た へ

「お」「を」「わ」と「は」「え」と「へ」の使い分けです。他の言葉にくっついて使うときは、「を」「は」「へ」と書くことを覚えてください。

罫 に 「を」「は」「へ」の どれ か を か い て、た だ しい ぶん に し ま し ょ う。

とり      きょう      ねこ      うさぎ      ノート      とおく      これ      みず

は      は      は      は      を      へ      は      を

そら      ねずみ      かわい。      かう。      いく。      えほんです。      のむ。

を      こうえん      へ      とぶ。

とる。      いく。

の か た へ

「を」「は」「へ」の3つの助詞を使い分ける練習です。「は」は何についての文であるかを示す助詞。「へ」は目的や方向を、「を」は目的のほか、場所や期間を示す助詞です。

「を」「は」「へ」の どれかを つかって、ふたつの ことばを つなぎ、ぶんをつくりましょう。ぶんの おわりには かならず「。」を かきましよう。

れい

ケーキ  
たべる

ケーキを たべる。

①

うみ  
いく

うみへ いく。

②

せんせい  
やさしい

せんせいは やさしい。

③

さかな  
つる

さかなを つる。

の かたへ

適切な助詞を使い2つの言葉を正しくつなぐことは、文を書く基本になります。何度もくり返し練習して、「を」「は」「へ」それぞれの使い方を感覚的に会得することが大切です。

「が」「に」の どちらかを かいて、ただしい ぶんに しましょう。

ごはん

が

おいしい。

ノート

に

かく。

おなか

が

いたい。

ちち

が

かいしゃ

に

いく。

「が」「に」の どちらかを つかって、ふたつの ことばを つなぎ、ぶんをつくりましょう。ぶんの おわりには かならず「。」を かきましよう。

れい

さくら  
さいた

さくらが さいた。

①

6じ  
おきる

6じに おきる。

②

せみ  
なく

せみが なく。

の かたへ

「が」「は」おもに動作・状態の主体になることを示す助詞。「に」は場所や目的、結果などを示す助詞です。ほかに「わたし」「わたくし」の「学校」で「など、よく使う助詞を短い文を書きながら教えてください。